

周南市高齢者プラン

第10次老人保健福祉計画・ 第9期介護保険事業計画

【令和6（2024）年度～令和8（2026）年度】

【令和6年度】進捗状況

令和7年3月

周 南 市

目 次

第4章 施策の展開

1	健康づくり・介護予防の総合的な推進	1
2	高齢者が活躍できる社会づくりの推進	4
3	地域包括ケアシステムの深化・推進	5
4	介護保険制度の円滑な運営	13

4 章 施策の展開

1 健康づくり・介護予防の総合的な推進

(1) 健康づくりの推進 <高齢者プランP32>

(進捗状況) (健康づくり推進課)

第3次周南市健康づくり計画に基づき、健康寿命の延伸をめざし、地域や関係団体と協働で、市民の主体的な健康づくりを支援するとともに、特定健康診査やがん検診等の受診しやすい環境づくりを進め、疾病の早期発見・早期対応に取り組んでいます。

① 高齢者の健康づくり

- ・周南市健康づくり計画推進の一環として、健康寿命を延ばす市民運動「しゅうなんスマートライフチャレンジ」を、地域・企業・関係団体等と連携し実施しました。令和6年度より、従来の健康づくりにフレイル予防をサポートするチャレンジメニューを加え、高齢者や働く世代の健康づくり・介護予防の取り組みを強化しました。

(令和7(2025)年1月末時点)

チャレンジメニュー		参加者数(人)
健康づくり	「にこにこサイズダウン チャレンジ」、「チャレンジ ウォーキング」	9,215
	「こども あさごはん ちゃれんじ」、「はみがき チャレンジ」	
フレイル予防	「脳の健康度測定 チャレンジ」	1,147
	「学び チャレンジ」(認知症やフレイル予防等の出前講座)	

② 疾病の早期発見・早期対応

- ・医療機関で受ける個別けんしんと保健センター等で受ける集団けんしんとして、特定健康診査とがん検診を実施しました。実施にあたり、特定健康診査とがん検診の同時開催や休日開催、女性限定日の設定等、受診率の向上、受診しやすい環境づくりに取り組みました。
- ・特定健康診査、がん検診、いい歯スマイル検診の一体型受診券の発行、受け方等を紹介した「けんしんガイド」の全戸配布のほか、健康イベントや啓発展示等を通じて、がんに対する正しい知識やけんしん受診の大切さを周知啓発しました。

(令和6(2024)年12月末時点)

検診名	特定健康診査	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	前立腺がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	いい歯スマイル検診
受診者数(人)	4,219	1,602	5,671	5,425	2,390	2,480	2,495	995

(進捗状況)

① フレイル・オーラルフレイル予防の推進

- ・市民や関係者に、フレイル予防の3つの柱（運動、口腔・栄養、社会参加）や、口腔機能低下予防について、市広報、出前トーク、研修会など、あらゆる機会を捉えて情報発信を行いました。また、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーター、食生活改善推進員など多様な主体と連携した普及啓発に努めました。

② 市民の自主的な介護予防活動に対する支援

- ・週1回「いきいき百歳体操」に取り組む住民運営の通いの場は、参加者の減少等から休止となるグループもありましたが、地区担当保健師や地域の働きかけにより、新規立ち上げや再開が4カ所あり、計138カ所となりました。
また、既存の場には、継続のモチベーションが高められるよう、保健師・リハビリ専門職等による体力測定や助言を行いました。
- ・ふれあい・いきいきサロンについては、「担い手研修会」を4エリアで実施し、活動支援を行いました。

③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

- ・地区の後期高齢者の健診や医療・介護データの分析結果に基づき選定した圏域において、保健師や歯科衛生士などによるハイリスクアプローチ（健康状態不明者対策、口腔機能低下防止事業）や、ポピュレーションアプローチ（口腔体操支援事業、住民運営通いの場支援）を行いました。
- ・ハイリスクアプローチについては、健康状態不明者や口腔機能低下者へアンケートを送付し、その結果に基づき、家庭訪問等による指導や助言を行いました。
ポピュレーションアプローチについては、住民運営の通いの場において、フレイル予防や口腔に関する体操の指導や健康教育、健診等の受診勧奨を行いました。

④ 要支援者等に対する「入口支援の充実」

- ・地域のリハビリテーション専門職による「短期集中通所介護（通所型サービス・活動C）」※は、100人を超える利用があり、実施前後の評価結果によると、利用者のほとんどが、心身機能の向上、生活課題の改善、地域活動の再開につながり、サービス終了1年後も、65%が自立状態（介護保険サービスを必要としない状態）を維持しています。

※リハビリ専門職が週1回3か月間、利用者に応じた生活や運動のアドバイスを行い、セルフマネジメント力の向上を図るサービス

⑤ 総合事業サービスの拡充

- ・地域の協議体や関係団体への周知や働きかけを通じて、新たに「自立支援訪問介護事業」が1事業所、「地域支え合い訪問介護」「地域支え合い移動支援」登録団体が各1団体増えました。

	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
評価指標	計画値	実績見込	計画値	計画値
住民運営の通いの場の箇所	140 箇所	138 箇所	145 箇所	150 箇所
フレイル・オーラルフレイルの健康 教育実施（累計）	9,000 人	8,666 人	12,000 人	15,000 人
短期集中通所介護サービス利用者	100 人	113 人	110 人	120 人

(2) 高齢者への生活支援事業の推進 <高齢者プラン P34>

(地域福祉課・高齢者支援課)

(進捗状況)

○在宅生活を安心・安全に継続するために、高齢者一人ひとりに必要な日常生活支援事業を組み合わせながら、支援を行いました。

○高齢者の日常生活の継続を支援するため、はり・きゅう・あんまマッサージ助成事業を実施しました。

令和7年1月末時点の、はり・きゅう・あんまマッサージの総利用件数は、10,318件で、令和6年1月末時点と比較すると521件増加しました。

2 高齢者が活躍できる社会づくりの推進

(1) 高齢者が地域で活躍できる場の創出 <高齢者プランP35>

(高齢者支援課)

(進捗状況)

高齢者のこれまでに培った知識、経験、技術等を発揮し、地域で活躍できる場づくりのため、老人クラブ活動の支援に取り組みました。

具体的には、高齢者振興大会をはじめ、各種スポーツ大会や輝き周南大学を支援することで、高齢者が地域で活躍できる場を創出しました。

また、多くの方に老人クラブを知っていただくため、市HPで活動内容について紹介を行いました。

(2) 高齢者が就労・社会参加しやすい環境づくりの推進

<高齢者プランP35>

(高齢者支援課)

(進捗状況)

高齢者が住み慣れた地域社会の中で役割を持っていきいきと生活を送れるよう、高齢者生産活動センターにおける就労機会の創出や老人デイサービスセンターにおける介護サービスの提供のほか、新南陽老人福祉センターでは、創作的活動や文化的な活動を通じた高齢者の生きがいづくり活動が行われており、こうした取り組みに対する支援を行いました。

3 地域包括ケアシステムの深化・推進

(1) 相談・支援体制の充実 <高齢者プランP36>

(地域福祉課)

(進捗状況)

① もやいネットセンターの機能強化

- ・複合化・複雑化した困りごとに対し、もやいネットセンターが中心となって関係機関による支援会議を適宜開催し、支援の方向性の整理や役割分担等を行い、課題解消に取り組みました。

② 地域包括支援センターの体制整備、機能強化

- ・地域包括支援センター運営上の問題点や市全域で共通する課題、各事業の実施状況、進捗状況を把握するとともに、市・包括間の連携強化、障害分野や児童福祉分野との連携促進を図るため、リーダー（センター長）会議を開催しました。

③ 重層的な支援体制の構築

- ・複雑化・複合化した課題に対応できるよう、市内各分野の横の連携を整備するとともに、地域関係団体・各種関係機関と連携し、重なり合って支援することで、包括的な支援体制の構築を推進しています。

「包括的相談支援事業」、「多機関協働事業」、「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」、「参加支援事業」、「地域づくり事業」という5つの支援・事業を一体的に実施し、「多機関協働事業」の中で、重層的支援会議（支援会議）を行いました。

評価指標	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
	計画値	実績見込	計画値	計画値
重層的支援会議（支援会議）の開催数	10回	17回	10回	10回

(2) 地域での生活を支える基盤づくりの推進 <高齢者プラン P37>

(地域福祉課)

(進捗状況)

① 生活支援体制整備事業の推進

・地域福祉コーディネーターが、虚弱高齢者の生活の困りごとの把握から、住民主体の支え合い活動が推進できるよう、協議体等への情報提供や活動支援、研修会などを行いました。また、「外出支援」に関して、地域での支え合いが進むよう、補助金の内容を見直したり、制度や地域での補助金の活用事例など、最新の情報をまとめたガイドブックを作成しました。

② 地域見守りネットワークの強化

・ライフライン事業者など地域の様々な業種の事業者ともやいネット支援事業者として協定を結び、日常業務の中でのさりげない高齢者等の見守りを行っていただきます。地域住民の日常生活における異変があったときに、もやいネットセンターへ情報提供いただきました。

評価指標	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
	計画値	実績見込	計画値	計画値
地域福祉コーディネーターの地域ケア会議または協議体等への参加割合	70%	86%	75%	80%

(3) 地域ケア会議の推進 <高齢者プランP38>

(地域福祉課)

(進捗状況)

① 地域ケア個別会議

- ・包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のために、各地域包括支援センターにおいて適宜開催しました。また短期集中通所介護サービス利用者との中間時期にも適宜開催し、地域活動の把握や終了後のマッチングにつなげました。

② 介護予防・自立支援型地域ケア個別会議

- ・毎月1回、リハビリ専門職、薬剤師、主任ケアマネジャー、保健師、地域福祉コーディネーターなどが参加し、検討事例の自立支援や介護予防につながる助言やアイデアを出し合うことで、個人の状態改善や自立支援の促進、介護予防ケアマネジメントの質の向上につなげました。

③ 地域ケア推進会議

- ・各地域包括支援センターにおいて、圏域や小地域ごとに開催し、地域課題の共有や協議を行いました。市全体の地域課題については、市主催の地域ケア会議を開催し、地域づくりや資源開発などについて提案や意見をいただきました。

評価指標	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
	計画値	実績見込	計画値	計画値
地域ケア個別会議実施件数	70 件	83 件	70 件	70 件
地域ケア推進会議実施回数	8 回	15 回	8 回	8 回

(4) 在宅医療・介護連携の推進 <高齢者プラン P38>

(地域福祉課)

(進捗状況)

① 在宅医療・介護連携の課題の抽出

- ・在宅医療介護連携会議（あ・うんネット周南）において、今年度より新たに3年間の予定で、①看取り・ACP支援 ②認知症バリアフリー ③入退院支援 の3つのワーキンググループ会議を設置しました。それぞれ連携上の問題抽出を図るとともに課題解決の取り組みとして、認知症月間の集中啓発、「入退院支援ガイド」の改定、「情報連携ツール」の周知等を行いました。

② 医療・介護関係者の研修

- ・医療・介護専門職の連携推進や情報共有支援のため、コミュニケーションツールアプリに関する研修、看取り事例をもとにした多職種研修、3つのワーキングの内容を発信する「医療・介護・福祉リレー学習会」を各1回、計3回開催しました。

③ 地域住民への普及啓発

- ・あ・うんネット周南で作成した「在宅療養ガイドブック」を活用し、しゅうなん出前トークなど様々な機会を通じて、「ACP（人生会議）」や「元気なうちから知っておいてほしい12のこと」について、普及啓発を行いました。

	令和6年度		令和7年度	令和8年度
	(2024)		(2025)	(2026)
評価指標	計画値	実績見込	計画値	計画値
あ・うんネット周南在宅医療・介護連携会議、研修会の開催数	20回	24回	20回	20回

(進捗状況)

① 認知症への理解を深めるための普及・啓発・本人発信支援

- ・年間を通じて、地域、企業、学校等において認知症サポーター養成講座を実施した他、認知症月間（9月）には、あ・うんネット周南と協働し啓発活動を行いました。また荒天で中止となった「認知症講演会」の代替として、「認知症予防チェックリストと相談窓口」リーフレットを12月号市広報とともに、全世帯へ配布しました。

更に、市政情報番組「認知症と共に生きるための備え ～知ること、つながること、伝えること～」を作成・放映し、新しい認知症観の普及啓発等に努めました。

② 認知症予防に資する可能性のある活動の推進

- ・認知機能をチェックするデジタルツールを活用し、脳の健康度測定（来所型・自宅型・出張型）を約170人に実施し、自分自身の脳の健康度の把握から、維持向上させる生活習慣の振り返りや実践につなげました。また、しゅうなん出前トークやしゅうなんスマートライフチャレンジの取組において、市民や団体、企業の従業員に対し、認知症予防に関する講話を行いました。

③ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- ・令和5年度末に改定した「認知症ケアパス（認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）」を2,000部関係機関に配布し、地域包括支援センターや医療機関などへの受診・相談時に活用されています。

また、本人と家族が主体的に仲間と交流でき、一体的に支援が受けられる「認知症介護者のつどい」を月1回開催するとともに、介護者への支援として、認知症介護指導者等による「認知症介護相談事業」の周知啓発を積極的に行いました。

④ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- ・地域包括支援センター及び市に配置している認知症地域支援推進員を中心に「チームオレンジ」※の構築に向け、認知症サポーターの知識やスキルの向上を図る「認知症サポーターステップアップ講座」を新たに2地区で開催し、計5チームが活動を開始しました。

※地域において、認知症の人やその家族の支援ニーズ（したいこと、続けたいこと、困りごと）と認知症サポーター等をつなぐ仕組み

- ・「認知症にやさしい図書館ガイドライン」を参考に、認知症の人の社会参加や生きがい創出など、地域づくりのための取組みとして、全ての市立図書館

と連携して、認知症に関する情報発信やイベントを行いました。

	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
評価指標	計画値	実績見込	計画値	計画値
認知症サポーター養成者数累計	18,500 人	16,922 人	19,000 人	19,500 人
認知症サポーターステップアップ 講座受講者数累計	50 人	149 人	100 人	150 人

⑤ 家族介護者等（ヤングケアラー含む）の支援体制の構築

- ・介護を受ける本人だけでなく、家族介護者等が抱える世帯全体の課題としてとらえ、支援が必要な家族介護者を「見つける」→「つなげる」→「支える」視点を持つことで、複合的な課題や多様なニーズを対応できるよう、関係部署間での連携を図りながら重層的かつ包括的な支援体制の構築に取り組みました。

(6) 虐待防止・権利擁護の推進 <高齢者プラン P42>

(地域福祉課)

(進捗状況)

① 高齢者虐待防止、早期発見の取り組みの推進

- ・介護事業者等を対象とした研修会の実施や民生委員・児童委員、福祉員を対象とした出前トークを通して、高齢者虐待の防止、早期発見の周知啓発に取り組みました。
- ・周南市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会を開催し、現状把握や事例紹介などを通して関係機関とのネットワーク強化を図りました。

② 成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発・相談援助

- ・周南市成年後見支援センターにおいて、成年後見制度や権利擁護に関する相談対応を行いました。また、市民講座を開催し、成年後見制度の紹介等の広報啓発を推進しました。
- ・周南市成年後見制度利用促進連携協議会を開催し、周南市成年後見制度利用促進計画の進捗の把握、課題の検討などを行い、関係機関との連携強化を図りました。

評価指標	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
	計画値	実績見込	計画値	計画値
高齢者虐待に関する研修会・出前トークの実施	5回	5回	5回	5回

（７）安全で住みよい環境づくりの推進 <高齢者プランP43>

（地域福祉課・高齢者支援課）

（進捗状況）

- ・ 身体的、精神的、環境的、または経済的な理由で困窮し、在宅での生活が困難な高齢者に対して、養護老人ホームへの入所措置を行いました。
- ・ 高齢者の安定した住居確保と住環境整備のため、県や居住支援団体等との連携に取り組みました。
- ・ 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅の設置状況について、必要な情報を収集するとともに、窓口等で入居を希望する方に対する情報提供を行いました。

4 介護保険制度の円滑な運営

＜高齢者プラン P44＞

(1) 介護保険サービスの事業量及び給付費の見込み

① 省略

② 総人口及び高齢者人口 ＜高齢者プラン P45＞

(高齢者支援課)

令和6(2024)年9月末の総人口は、令和5(2023)年9月末と比べて、1,442人減少し、65歳以上の人口は276人減少しています。

なお、65歳以上の人口のうち、65～74歳までの人口は減少し、75歳以上の人口は増加しています。

単位：人

	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024) 計画値	令和6年度 (2024) 実績値	比較 令和5年度 (2023)	比較 (計画値)
総人口	136,516 100%	134,877 100%	135,074 100%	98.9% -	100.1% -
第2号被保険者 (40～64歳)	44,538 32.6%	44,082 32.6%	44,109 32.6%	99.0% -	100.0% -
第1号被保険者 (65歳以上)	45,792 33.5%	45,607 33.7%	45,516 33.7%	99.3% -	99.8% -
前期高齢者 (65～74歳)	19,919 14.6%	18,803 13.9%	18,829 13.9%	94.5% -	100.1% -
後期高齢者 (75歳以上)	26,023 19.1%	26,804 19.8%	26,687 19.8%	102.5% -	99.5% -
高齢化率	33.5%	-	33.6%	-	-

※実績は住民基本台帳（各年9月末日現在）

③ 要介護（要支援）認定者数 <高齢者プラン P47 >

令和6（2024）年9月末の認定者数は、令和5（2023）年9月末よりも、71人減少しています。

単位：人

	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024) 計画値	令和6年度 (2024) 実績値	比較 令和5年度 (2023)	比較 (計画値)
要支援1	793	902	745	93.9%	82.5%
要支援2	932	935	951	102.0%	101.7%
要介護1	1,775	1,920	1,759	96.9%	91.6%
要介護2	1,234	1,254	1,192	99.0%	95.0%
要介護3	871	884	838	96.2%	94.7%
要介護4	951	957	998	104.9%	104.2%
要介護5	618	670	620	100.3%	92.5%
合計	7,174	7,522	7,103	99.0%	94.4%
第2号被保険者	132	136	140	106.0%	102.9%
前期高齢者	612	578	540	88.2%	93.4%
後期高齢者	6,430	6,808	6,549	101.8%	96.1%
認定率	15.3%	-	15.3%	-	-
認定率（全国）	19.4%	-	19.7%	-	-

実績は介護保険事業報告月報（各年9月末日現在）

④、⑤ 介護保険サービス利用量及び給付費の見込み <高齢者プラン P49～P55 >

- ・令和6（2024）年4月～令和6（2024）年9月サービス提供分の給付実績に基づいて、令和6（2024）年度のサービス別の給付費、利用回数、利用者数の実績を見込みました。
- ・令和6（2024）年度の計画値に対して、介護予防サービス給付費の実績見込み額は95.0%、介護サービス給付費の実績見込み額は99.8%で、計画値内で推移しています。

1. 介護予防サービス見込量

		令和6年度 (計画)	令和6年度 (実績見込)	比較
(1) 介護予防サービス				
介護予防訪問入浴介護	給付費	0	0	-
	回数	0.0	0.0	-
	人数	0	0	-
介護予防訪問看護	給付費	24,504	20,951	85.5%
	回数	368.2	346.0	94.0%
	人数	63	71	112.7%
介護予防訪問リハビリテーション	給付費	10,912	9,111	83.5%
	回数	315.4	272.0	86.2%
	人数	34	29	85.3%
介護予防居宅療養管理指導	給付費	3,852	3,836	99.6%
	人数	35	36	102.9%
介護予防通所リハビリテーション	給付費	163,832	150,291	91.7%
	人数	410	365	89.0%
介護予防短期入所生活介護	給付費	1,620	1,165	71.9%
	日数	24.0	17.0	70.8%
	人数	4	3	75.0%
介護予防短期入所療養介護(老健)	給付費	1,047	1,481	141.5%
	日数	8.4	13.0	154.8%
	人数	4	4	100.0%
介護予防短期入所療養介護(病院等)	給付費	0	0	-
	日数	0.0	0.0	-
	人数	0	0	-
介護予防短期入所療養介護(介護医療院)	給付費	0	0	-
	日数	0.0	0.0	-
	人数	0	0	-
介護予防福祉用具貸与	給付費	60,808	63,129	103.8%
	人数	758	760	100.3%
特定介護予防福祉用具購入費	給付費	4,151	4,806	115.8%
	人数	14	18	128.6%
介護予防住宅改修	給付費	11,859	10,353	87.3%
	人数	14	14	100.0%
介護予防特定施設入居者生活介護	給付費	6,367	5,821	91.4%
	人数	8	7	87.5%
(2) 地域密着型介護予防サービス				
介護予防認知症対応型通所介護	給付費	0	0	-
	回数	0.0	0.0	-
	人数	0	0	-
介護予防小規模多機能型居宅介護	給付費	5,223	8,937	171.1%
	人数	6	10	166.7%
介護予防認知症対応型共同生活介護	給付費	0	0	-
	人数	0	0	-
(3) 介護予防支援	給付費	58,771	55,385	94.2%
	人数	1,034	982	95.0%
合計	給付費	352,946	335,266	95.0%

※給付費は年間累計の金額(千円単位)、回(日)数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数。

2. 介護サービス見込量

		令和6年度 (計画)	令和6年度 (実績見込)	比較	
(1) 居宅サービス					
訪問介護	給付費	931,542	977,189	104.9%	
	回数	29,700.0	31,489.0	106.0%	
	人数	1,118	1,145	102.4%	
訪問入浴介護	給付費	37,789	33,950	89.8%	
	回数	256.5	232.0	90.4%	
	人数	57	45	78.9%	
訪問看護	給付費	178,840	175,052	97.9%	
	回数	2,378.2	2,511.0	105.6%	
	人数	429	404	94.2%	
訪問リハビリテーション	給付費	107,075	91,842	85.8%	
	回数	3,011.1	2,606.0	86.5%	
	人数	267	231	86.5%	
居宅療養管理指導	給付費	97,904	95,988	98.0%	
	人数	812	796	98.0%	
通所介護	給付費	1,534,340	1,635,692	106.6%	
	回数	16,654.4	17,484.0	105.0%	
	人数	1,488	1,527	102.6%	
通所リハビリテーション	給付費	478,178	458,383	95.9%	
	回数	4,983.0	4,848.0	97.3%	
	人数	635	612	96.4%	
短期入所生活介護	給付費	241,543	250,004	103.5%	
	日数	2,384.8	2,413.0	101.2%	
	人数	210	221	105.2%	
短期入所療養介護(老健)	給付費	51,431	39,447	76.7%	
	日数	395.0	296.0	74.9%	
	人数	68	48	70.6%	
短期入所療養介護(病院等)	給付費	83	384	－	
	日数	0.8	3.0	－	
	人数	1	1	－	
短期入所療養介護(介護医療院)	給付費	0	0	－	
	日数	0.0	0.0	－	
	人数	0	0	－	
福祉用具貸与	給付費	358,427	338,213	94.4%	
	人数	2,313	2,122	91.7%	
特定福祉用具購入費	給付費	11,297	8,191	72.5%	
	人数	35	34	97.1%	
住宅改修費	給付費	14,286	16,010	112.1%	
	人数	17	22	129.4%	
特定施設入居者生活介護	給付費	374,269	385,532	103.0%	
	人数	156	155	99.4%	
(2) 地域密着型サービス					
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	給付費	332,799	248,577	74.7%	
	人数	119	97	81.5%	
	人数	0	0	－	
夜間対応型訪問介護	給付費	0	0	－	
	回数	0	0	－	
	人数	0	0	－	
地域密着型通所介護	給付費	391,701	401,578	102.5%	
	回数	3,518.3	3,542.0	100.7%	
	人数	252	253	100.4%	
認知症対応型通所介護	給付費	23,161	13,656	59.0%	
	回数	292.7	182.0	62.2%	
	人数	25	12	48.0%	
小規模多機能型居宅介護	給付費	218,464	237,647	108.8%	
	人数	96	97	101.0%	
認知症対応型共同生活介護	給付費	912,982	923,850	101.2%	
	人数	290	290	100.0%	
地域密着型特定施設入居者生活介護	給付費	70,030	0	－	
	人数	29	0	－	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	給付費	174,274	115,749	66.4%	
	人数	45	31	68.9%	
看護小規模多機能型居宅介護	給付費	7,220	3,977	－	
	人数	2	1	－	
(3) 施設サービス					
介護老人福祉施設	給付費	1,926,449	1,879,615	97.6%	
	人数	589	561	95.2%	
介護老人保健施設	給付費	1,307,802	1,489,699	113.9%	
	人数	396	440	111.1%	
介護医療院	給付費	475,349	450,036	94.7%	
	人数	107	100	93.5%	
介護療養型医療施設	給付費	0	2,708	－	
	人数	0	1	－	
(4) 居宅介護支援					
	給付費	590,868	553,227	93.6%	
	人数	3,286	3,091	94.1%	
合計		給付費	10,848,103	10,826,196	99.8%

※給付費は年間累計の金額(千円単位)、回(日)数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数。

⑥ 標準給付費 <高齢者プラン P54 >

令和6（2024）年度の標準給付費の実績見込額は計画値と比較して99.2%で、計画値内で推移しています。

単位：千円

区分	令和6年度 (計画値)	令和6年度 実績見込	比較
総給付費	11,201,049	11,161,462	99.6%
介護予防サービス費	352,946	335,266	95.0%
介護サービス費	10,848,103	10,826,196	99.8%
特定入所者介護サービス費等給付額(財政影響額調整後)	225,825	205,681	91.1%
高額介護サービス費等給付額(財政影響額調整後)	314,233	288,222	91.7%
高額医療合算介護サービス費等給付額	37,198	33,194	89.2%
算定対象審査支払手数料	12,245	10,328	84.3%
標準給付費見込額	11,790,549	11,698,887	99.2%

⑦ 地域支援事業費 < 高齢者プラン P57 >

(進捗状況) 地域福祉課

第9期計画における地域支援事業費見込量は、合計で約17億9千万円と推計されます。

図表4-12 地域支援事業費の見込み

単位：千円

区分	令和6年度 (2024)		令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	合計
	計画値	実績見込	計画値	計画値	
介護予防・日常生活支援総合事業費	342,307	292,149	354,090	366,080	1,062,477
包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業費	197,715	198,528	199,737	201,766	599,218
包括的支援事業（社会保障充実分）	39,200	42,647	41,696	42,937	123,833
地域支援事業費見込額	579,222	533,324	595,523	610,783	1,785,528

図表 4-13 地域支援事業の量の見込み

【介護予防・日常生活支援総合事業】

		項目	単位	令和 6 年度 (2024)		令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)
				計画値	実績見込み	計画値	実績見込
介護予防・ 生活支援 サービス事 業	介護予防・ 生活支援 サービス事 業	訪問型サービ ス	件	5,700	4,143	5,900	6,300
		通所型サービ ス	件	13,200	10,006	13,800	14,300
		地域支えあい 訪問介護・通所 介護・移動支援 サービス登録 団体数	団体	8	8	9	10
	介護予防ケ アマネジメント事業	介護予防ケア マネジメント 件数	件	6,400	5,819	7,000	7,600
一般介護予 防 事業	地域介護予 防活動支援 事業	住民運営通い の場箇所数	か所	140	138	145	150

【包括的支援事業・任意事業】

		項目	単位	令和 6 年度 (2024)		令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)
				計画値	実績見込み	計画値	計画値
包括的支援 事業 (任意事業)	地域包括支援 センター運営 事業	設置箇所数	カ所	5	5	5	5
		相談件数	件	9,200	9,400	9,200	9,200
	もやいネット センター推進 事業	相談件数	件	4,100	3,300	4,100	4,100
	地域ケア会議 推進事業	介護予防型 地域ケア会議 開催数	回	12	10	12	12
	在宅医療・介 護連携推進事 業	会議・研修 開催回数	回	20	24	20	20
	認知症施策総 合推進事業	初期集中支援 件数	件	3	3	3	3
		認知症サポー ター数(累計)	人	18,500	16,922	19,000	19,500

⑧ 保健福祉事業費 <高齢者プラン P58>

(進捗状況)

(高齢者支援課)

単位：千円

区分	令和6年度 (2024) 計画値	令和6年度 (2024) 実績見込	比較
寝たきり高齢者紙おむつ給付事業	2,000	2,000	100%

(2) 日常生活圏域と介護保険サービスの基盤整備 <高齢者プラン P59>

(高齢者支援課)

① 省略

② 介護保険施設の基盤整備 < 高齢者プラン P59～P60 >

・令和6（2024）年度サービス付き高齢者住宅（定員 29 名）について施設人員が不足しているとの理由で、現時点（2 月末）ではまだ特定施設へ転換予定されていませんが、転換予定ですすんでいます。

また、認知症対応型グループホーム（定員 18 名）の 1 箇所について令和（2026）年度に 9 床の増床予定でしたが、事業者から、令和 7（2025）年度に前倒しにより増床したいとの要望書が出ています。

③ 地域密着型サービスの基盤整備 <高齢者プラン P61 >

・令和 6（2024）年度に、中央 2 地区を除く全圏域対象の地域密着型介護老人福祉施設の公募を行いました。応募がありませんでした。

(3) ～ (4) 省略

(5) 介護給付等の適正化への取組及び目標 <高齢者プランP67>

(高齢者支援課)

(進捗状況)

① 適正な認定調査実施体制の確保 <高齢者プラン P67 >

事業内容	令和6年度 (2024)		計画値	計画値
	計画値	実績見込	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
認定調査員研修	4回	4回	4回	4回

② 認定審査の平準化 < 高齢者プラン P67 >

事業内容	令和6年度 (2024)		計画値	計画値
	計画値	実績見込	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
認定審査会委員研修	2回	2回	2回	2回

③ ケアマネジメントの適正化 <高齢者プラン P68 >

事業内容		令和6年度 (2024)		計画値	計画値
		計画値	実績見込	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
ケアプラン の点検	件数	50件	37件	50件	50件
	事業所数	20件	12件	20事業所	20事業所

④ 給付内容の点検等 <高齢者プラン P68 >

事業内容	令和6年度 (2024)		計画値	計画値
	計画値	実績見込	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
縦覧点検・医療情報との 突合	12件	12件	12回	12回

⑤ 住宅改修等の点検

<高齢者プラン P68 >

事業内容	令和6年度 (2024)		計画値	計画値
	計画値	実績値	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
住宅改修実態調査	5 件	2 件	5 件	5 件
福祉用具実態調査	2 件	0 件	2 件	2 件

(6) 人材の確保及び資質の向上【重点】 <高齢者プラン P69>

(高齢者支援課)

(進捗状況)

令和6(2024)年度は、介護人材確保に関する施策を検討するため、居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所に対し、アンケート調査を実施しました。

今後は、アンケート調査結果をふまえ、介護人材確保につながるよう施策の検討に取り組めます。

また、NPO 法人と共催で、福祉教育プログラムの出前授業を小学校で1回、中学校で1回実施しました。

そのほか、市政情報番組にて、介護職の魅力についても情報発信を行いました。

